

## フォーラム

●日時：10月19日(土) 9:00～14:45 ●会場：くにびきメッセ 3階国際会議場、401・501・601大会議室(4～6階)

### ▶ 島根会セッション

#### まちづくりフォーラム

(島根会担当)

- テーマ：松江の文化(レキシ)と新しい視点……“縁”
- 会場：くにびきメッセ 601大会議室
- 時間：13:00～14:30
- 定員：120名(予定) ※一般市民も参加予定
- 形態：ディスカッション(開催手法検討中)

午前開催の「松江まぢめぐり」のうち、①～③コースを取り上げ、水と神話の城下町松江のまちづくりについて、女子高生や市民(行政も)からのレクチャーや、建築士と一緒に松江の魅力をさらに掘り起こすため、それぞれの視点で考察し新たな手法の手掛りが見つかるよう意見交換をします。

このフォーラムが地域の特性を新たな視点によって別の気づきを生み、そこに“ひと”の存在や生活感が感じられるまちづくりに繋がるよう活発に意見が交わされる場になることを期待します。多くの方の御参加をお待ちしています。

#### 木造フォーラム

(島根会担当)

- テーマ：フォーラムⅠ 伝統木造継承のために  
フォーラムⅡ これからの木造建築の可能性
- 会場：くにびきメッセ 3階国際会議場
- 時間：フォーラムⅠ / 10:00～12:00  
フォーラムⅡ / 12:45～14:45
- 定員：300名

ものづくりの原点を見つめる切り口として、木造建築について語り合います。木造建築は伝統的構法でつくられた日本文化の形もありますが、それらは技術としては廃れつつあります。しかしこのまま朽ち果てさせるべきものではなく、何らかの方法で継承していかなければなりません。また、今の木造建築構法からさらに進んだ未来に向けての構法がこれからの課題となります。

このフォーラムでは、伝統的技術の継承そして未来に向けての木造という2つのテーマを話し合う場とします。

### ▶ 実践活動交流セッション

#### 交流セッション①

(青年委員会担当)

- テーマ：木造の可能性、  
そして建築士会の未来を考えよう!
- 会場：くにびきメッセ 501大会議室
- 時間：9:00～12:00
- 定員：150名
- 形態：【第1部】情報提供：最新木造技術講演  
【第2部】成果報告：建築士会PR活動報告+ディスカッション

木材利用促進法が施行され、木造率の低い公共建築物等への木材利用を促し、林業再生を図るといった社会的な動きがあります。そこで、木造の可能性を踏まえ、設計に際して耐久性・防耐火・構造計算の捉え方などについて触れてみようと思います。

また、全国青年委員長会議にて協議した「建築士会をどのように盛り上げるか」について、単位士会ごとに行動・実践いただいた成果報告として、各地の成功事例や課題を共有し、次の取り組みへ繋げていただければと考えています。

新情報を得ること、そしてこのような催しを含め、建築士会は自分たちがつくっていくという意識共有のできる場になれば幸いです。より多くの皆様の参加をお待ちしております。



くにびきメッセ



## 交流セッション②

(女性委員会担当)

- テーマ：高齢者・障害者の住宅改修の現状とこれからの課題
- 会場：くにびきメッセ 501大会議室
- 時間：12:30～14:30
- 定員：150名
- 形態：【第1部】アンケートの結果報告  
【第2部】事例報告と今後の課題

現在日本の高齢者人口は3,074万人で、全人口の24.1% (平成24年9月) となっており、厚生労働省では、2060年には2.5人に1人が65歳以上になる予測を出しています。高齢者の住宅問題については、全国女性建築士連絡協議会で継続的な情報交換を約20年間行ってきました。女性委員会では、平成24年度に各単位士会の女性委員会を窓口にして全国の高齢者・障害者の住宅改修の実態を把握することを目的に「生活を支援する居宅サービスの受給に適した住宅の事例収集」に関するアンケートを行ってきました。

本セッションでは、上記アンケートの結果報告とともに、早急に取り組まなくてはならない在宅介護も踏まえた高齢者・障害者の住宅改修の実態と今後の課題についてディスカッションを行い、各地域の介護保険と住宅改修の取り組みについて、多くの建築士との情報共有をめざします。



交流セッション(いばらき大会)

## 交流セッション③

(情報・広報委員会情報部および中四国BIM情報関連委員、青年委員担当)

- テーマ：木造フォーラム分科会  
「木造建築とBIM—その効果と可能性—」
- 会場：くにびきメッセ 401会議室
- 時間：10:00～14:45
- 定員：50名

3次元のリアルタイムでダイナミックな建築設計および建設の生産性向上をさせる工法としてビルディング・インフォメーション・モデル(BIM)設計手法があります。

BIMは現在、住宅から多くの複雑な最新建築物まであらゆる形態の建築物に関連した事業で利用されていますが、木造におけるBIMによるデザイン手法はまだ発展途上と言えます。

本フォーラムが、木造建築の設計、施工および林業を切り口として問題提起をする中で、分科会においてBIMを活用することで生まれる効果や可能性を参加者が理解し、新しい手法を学ぶ場となることを期待します。

## 第1回 全国ヘリテージマネージャー大会

(全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会担当)

- テーマ：地域の歴史的建造物とヘリテージマネージャーネットワーク—災害時における社会貢献—
- 会場：くにびきメッセ 601大会議室
- 時間：10:00～12:00
- 定員：150名

昨年10月、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会が設立されました。約20の地域がヘリテージマネージャー養成に取り組み、各地で活動ネットワークが構築されつつあります。

第1回大会では、昨年度九州ブロックで作成した「調査・復旧マニュアル」の普及を図るとともに、多重広域ネットワーク構築における全国協議会の役割について議論します。